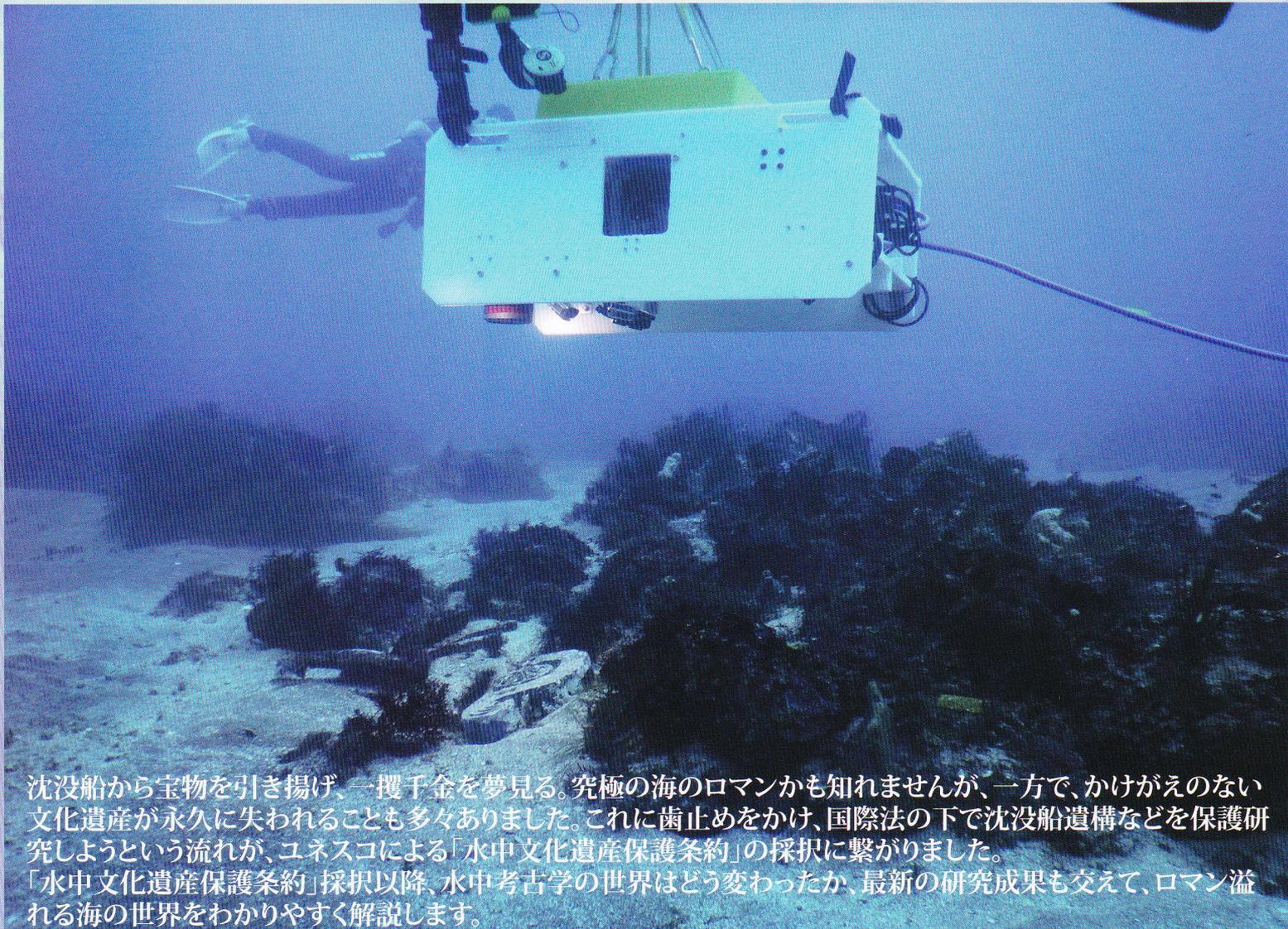


海に沈んだ歴史と宝物—水中考古学の魅力



沈没船から宝物を引き揚げ、一攫千金を夢見る。究極の海のロマンかも知れませんが、一方で、かけがえのない文化遺産が永久に失われることも多々ありました。これに歯止めをかけ、国際法の下で沈没船遺構などを保護研究しようという流れが、ユネスコによる「水中文化遺産保護条約」の採択に繋がりました。「水中文化遺産保護条約」採択以降、水中考古学の世界はどう変わったか、最新の研究成果も交えて、ロマン溢れる海の世界をわかりやすく解説します。

初島沖沈没船を調査する東京海洋大学の水中ロボット



いわぶち あきふみ
 講師 **岩淵 聡文**
 (東京海洋大学大学院教授)

1960年東京都生まれ。早稲田大学卒、東京大学大学院、オックスフォード大学大学院修了。東京海洋大学大学院において海の考古学、人類学を教授する。イコモス国際水中文化遺産委員会日本代表。日本海事史学会理事。NPO法人アジア水中考古学研究所理事。著書に『アラス峡谷の人々(英文)』(クラレンドン1994)、『文化遺産の眠る海』(化学同人2012)などがある。

2016年

11月10日(木)

19:00~20:30(18:30開場)

- 会場:日比谷図書文化館 4階
スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名
(事前申込順・定員に達し次第締切)
- 参加費:1,000円

■お申し込み方法

①お電話(03-3502-3340) ②Eメール
 (college@hibiyal.jp) ③ご来館(1階受付)いずれかに
 て、参加ご希望の講座名・お名前(よみがな)・お電話
 番号をお知らせ下さい。
 ※小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が必要
 です。(同伴者の方にも参加費が必要です)

■アクセス

- 都営三田線「内幸町駅」A7出口/徒歩3分
 - 東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C4出口/徒歩3分
 - 東京メトロ丸ノ内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口/徒歩3分
 - J R「新橋駅」日比谷口(SL広場) /
徒歩10分
- ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。
 公共交通機関をご利用ください。

